

食育だより



11月



おいさと感謝 かみしめた おにぎりの日



おにぎりの日やそれに向けた事前学習では、お忙しい中、ご家庭のご協力本当にありがとうございました。当日、朝から自分で作ったおにぎりを食べるのを楽しみにしていた子供たち。当日は誇らしげにおにぎりを見せてくれました。「大変だったけど、自分で作るおにぎりは格別おいしかった」等の感想が得られました。いつもより早く起きたり、中身を考えたりと、自分で作ることで、普段食事を作ってくれる人や食材の命への感謝の気持ちをもつことができたようです。



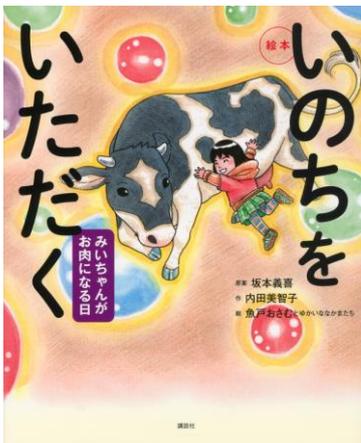
来月はいよいよ・・・

お弁当の日 12月1日(木)

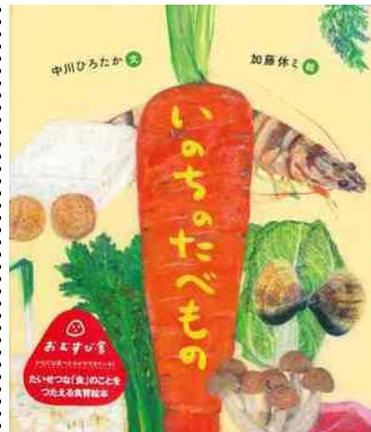
『お弁当』と「箸」持参(牛乳は出ます。)

ご協力どうぞよろしく願いいたします。

食育×秋の読書週間☆コラボ企画☆食に関する本を読んでみよう♪



命を「解く」現場，食肉センターで働く坂本義喜さんのお話です。生きるために食べる，食べるために働く，命を解く，そのようなサイクルについて考えさせられる本です。多くの生き物たちの命と人々の葛藤に支えられながら、「いただく」ことを実感できる一冊です。



寄せ鍋を作るために買い物に行ったばかりが具材を探しながら、それらがどこからきているか考えたり、「陸のたべもの」と「海のたべもの」に分けてみたり…。「人の体は食べ物でできているの」というお母さんの言葉に、はっとさせられます。



